



信頼要素

この章では、Cisco Unified Communications Manager 一括管理 (BAT) を使用して、Cisco Unified Communications Manager データベース内で信頼要素のレコードを挿入または削除する方法について説明します。

- [信頼要素の設定の挿入, 1 ページ](#)
- [IME 信頼要素設定の削除, 2 ページ](#)
- [IME に関連する項目, 3 ページ](#)

信頼要素の設定の挿入

BAT を使用して、信頼要素の設定を Cisco Unified Communications Manager データベースに追加します。

はじめる前に

- 要素名、説明、要素タイプ、信頼グループが含まれる CSV データ ファイルが必要です。
- CSV データ ファイルは、CSV 形式に変換した BAT スプレッドシートを使用して作成できます。

手順

- ステップ 1** [一括管理(Bulk Administration)] > [Intercompany Media Service(Intercompany Media Services)] > [信頼要素(Trust Element)] > [信頼要素の挿入(Insert Trust Element)] の順に選択します。
[信頼要素の設定の挿入(Insert Trust Element Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** [ファイル名(File Name)] フィールドで、このバルク トランザクション用に作成した CSV データ ファイルを選択します。
- ステップ 3** [ジョブ情報(Job Information)] 領域に、ジョブの説明を入力します。
デフォルトの説明は、「信頼要素の挿入(Insert Trust Element)」です。

- ステップ 4** Cisco 信頼要素の挿入レコードをすぐに挿入するには、[今すぐ実行(Run Immediately)] オプション ボタンをクリックします。レコードを後で挿入するには、[後で実行(Run Later)] をクリックします。
- ステップ 5** Unified 信頼要素レコードを挿入するジョブを作成するには、[送信(Submit)] をクリックします。
- ステップ 6** [一括管理(Bulk Administration)] メイン メニューの [ジョブスケジューラ(Job Scheduler)] オプションを使用して、このジョブのスケジュールやアクティブ化を行います。

関連トピック

- [BAT ログ ファイル](#)
- [ジョブのスケジュール](#)
- [IME に関連する項目, \(3 ページ\)](#)

IME 信頼要素設定の削除

カスタム CSV データ ファイルを使用して、Cisco Unified Communications Manager データベースから信頼要素を削除することができます。



- (注) 削除トランザクションに、`bat.xlt` を使用して作成した挿入トランザクションファイルを使用しないでください。代わりに、削除が必要な信頼要素のレコードの詳細情報を記述したカスタム ファイルを作成する必要があります。削除トランザクションには、このファイルしか使用しないでください。このカスタム削除ファイルには、ヘッダーを指定する必要がありません。名前や説明などの値を入力します。

はじめる前に

- 削除する信頼要素の要素名が記載されたテキスト ファイルを作成します。
- カスタム ファイルを Cisco Unified Communications Manager サーバの最初のノードにアップロードします。

手順

- ステップ 1** [一括管理(Bulk Administration)] > [Intercompany Media Service(Intercompany Media Services)] > [信頼要素(Trust Element)] > [信頼要素の削除>Delete Trust Element] の順に選択します。
[信頼要素設定の削除>Delete Trust Element Configuration] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** [削除対象:信頼要素、検索条件:名前が次のカスタムファイル内にある>Delete Trust Element where Name in custom file] ドロップダウン リスト ボックスで、この削除に使用するカスタム ファイルのファイル名を選択し、[検索(Find)] をクリックします。

検索条件に一致する信頼要素が表示されます。

ステップ 3 [送信(Submit)] をクリックして、信頼要素を削除するジョブを作成します。

ステップ 4 [一括管理(Bulk Administration)] メイン メニューの [ジョブスケジューラ(Job Scheduler)] オプションを使用して、このジョブのスケジュールやアクティブ化を行います。

関連トピック

- [BAT ログ ファイル](#)
- [ジョブのスケジュール](#)
- [IME に関連する項目, \(3 ページ\)](#)
- [サーバへのファイルのアップロード](#)

IME に関連する項目

- [BAT ログ ファイル](#)
- [CSV データ ファイルを作成するための BAT スプレッドシート データの収集](#)
- [IME 信頼要素設定用のテキストベース CSV ファイルの作成](#)
- [CSV データファイルによるテンプレート値の上書き](#)
- [IME 信頼要素設定の削除, \(2 ページ\)](#)
- [信頼要素の設定の挿入, \(1 ページ\)](#)
- [ジョブのスケジュール](#)
- [サーバへのファイルのアップロード](#)

